

地震発生 ~その時どうする~

東日本大震災や熊本地震など、近年大きな地震が発生しています。地震は台風などの風水害と違い、突然発生します。災害の被害を少なくするには日頃からの備えが大切です。9月1日は「防災の日」です。この機会に地震時の行動について確認しましょう。

問い合わせ 地域安全課(☎27444)

発生時の行動

地震発生時は、時間が経つにつれてすることが変わっていきます。地震が起きた時に何をすべきか、日頃からイメージしておくことが大切です。

地震発生

【とにかく自分の身を守る】

- ・家具から離れ、机の下に入る
- ・クッション、雑誌などで頭を保護する
- ・ドアや窓を開けるなど部屋からの避難路を確保する

【しっかりと火の始末】

- ・ガスの元栓を閉める
- ・ストーブなどを消す
- ・ブレーカーを落とす

【野外への出口の確保、情報収集】

- ・ガラスの破片などに備え必ず靴を履く
- ・災害情報、避難情報の入手
- ・家族の安全の確認

【隣近所の安否確認、助け合い】

- ・倒壊家屋や転倒家具の下敷きになっている人の救出
- ・火災発生時の消火活動
- ・けが人の救護

2分

5分

10分

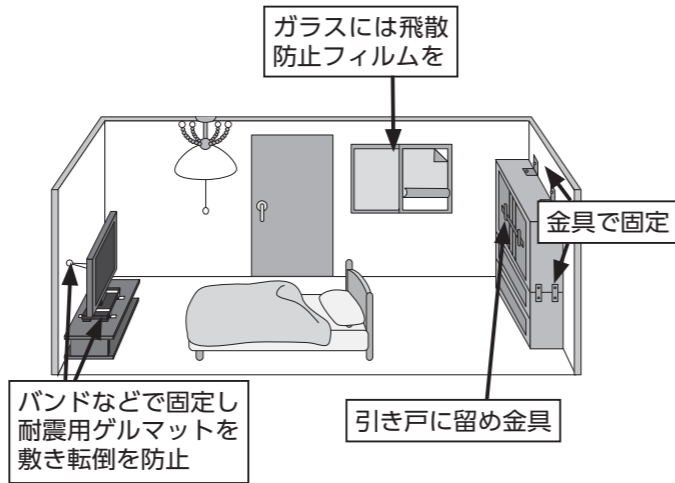
半日

「心の耐震化」を

「この辺りは災害が起こらないから大丈夫」と思わず、いつ災害が起きても対処できるように日頃から「防災意識」を高め、持ち出し袋などを用意しておきましょう。そして知識を身につけ、もしもの際に適切な行動をとれるようにしておくことで被害を少なくすることができます。

家の中の安全対策

- ・タンス、棚など倒れてきそうなものはL字金具などで固定する
- ・家具などの上に物を置かない
- ・食器棚などの扉には止め金具を付ける
- ・もしものために火災報知機を付ける など



ほっとメールや ツイッターで情報収集

市の情報を配信しています。登録はQRコードから。



↑ふじおかほっとメール



↑藤岡市公式ツイッター

**ご利用ください
災害伝言ダイヤル**

災害伝言ダイヤルは、災害発生時被災地への通信が繋がりにくくなった時に開設される音声の伝言板です。被災地にある電話番号を利用し、一つの電話番号に20件の伝言が残せます。

◆◆◆利用方法◆◆◆

- ①「171」にダイヤル
- ②音声ガイダンスに従い「録音」か「再生」を選択
- ③被災地の人の電話番号を入力
- ④伝言を録音・再生

毎月1日・15日と防災週間(8月30日~9月5日)などに体験利用できます。災害時に備えてぜひお試しください。

PICK UP 市政情報

アルミ缶	60,810kg
スチール缶	78,540kg
白・透明ビン	143,950kg
茶ビン	136,790kg
その他ビン	54,820kg
生きビン	29,360kg
PETボトル	132,190kg
トレイ	7,610kg
古紙類	554,050kg
廃乾電池	18,100kg
廃蛍光管	11,400kg
スプレー缶	17,950kg
PETボトルの蓋	4,850kg
ライター	2,250kg
マッチ・花火	20kg
合計	1,252,690kg

アルミ類	17,750kg
スチール類	103,020kg
電線	1,500kg
銅	210kg
真鍮	820kg
小型家電	71,360kg
ステンレス	470kg
合計	195,130kg

小型家電	68,760kg
プレススチール類	126,930kg
廃鉄	71,960kg
古着	8,630kg
家電品	590kg
古紙	171,600kg
処理困難物	30,780kg
ステンレス	5,070kg
リサイクルプラザ	580kg
合計	484,900kg

市内で出されたごみは清掃センターおよび鬼石資源化センターに持ち込まれ可燃ごみは焼却、不燃ごみは手選別により資源化しています。資源ごみはリサイクル業者が引き取り、資源として生まれ変わります。昨年度も皆さんのご協力によって多くの資源ごみを回収しました。

昨年度の資源・有害ごみの総量は、1,252万2,690kg。売却代金1540万2647円でした。また不燃ごみから選別した資源ごみ総量は19万5130kg・売却代金は285万1599円でした。

また市民の皆さんが直接清掃センターに搬入したごみか

②8305) 問い合わせ 清掃センター(☎28305)

回収した資源ごみはリサイクルして新たな商品や資材として生まれ変わります。市では今後ともごみを分別収集し、ごみの減量化、リサイクルの推進、焼却炉や埋め立て地の延命、環境負荷の低減を図っていきますので、皆さんのご理解ご協力をお願いします。

回収した資源ごみは48万4900kg。その他にも、資源集団回収事業での資源化量が1442万290kg。可燃物を焼却した際に発生する焼却灰の資源化量は238万1630kgでした。

お願い

■食品トレイの分別収集
市では、食品トレイの分別収集に力をいれています。異物(セロテープやラップ類)を取り除いて「青い網袋」に出してください。

分別するトレイの種類
食料品に使用されている▽白色トレイ▽色付きトレイ▽柄付きトレイ▽透明トレイ
(例)肉や魚など生鮮食料品トレイ、冷凍食品のトレイ、菓子やノリの仕切りトレイなど

※家電製品などに入っている発泡スチロール製の緩衝材、カップ麺の容器、油污のあるトレイは可燃ごみとして

て出してください

■カセットボンベ・ライターの正しい出し方
卓上コンロやバーベキュー用のカセットボンベおよびライターをごみとして出すときは、穴を開けずに赤カゴに出してください。収集車の火災の原因になりますので、不燃ごみの袋に入れて出すことは絶対にしていただきません。

■事業者の方のごみの出し方
商売により発生するごみは収集所へ出せません。直接清掃センターへ持ち込むか、市の収集運搬の許可を受けた業者へ依頼してください。

ご当地婚姻届 & 記念撮影用パネル

市の花であるふじと冬桜をモチーフとした、藤岡市のご当地婚姻届。お二人の門出に花を添えます。また市役所一階と鬼石総合支所には婚姻届や出生届を飾れる記念撮影用パネルも置いてあります。ぜひご利用ください。※ご当地婚姻届は窓口で配布はしていません。インターネットで「まちキュンご当地婚姻届」と検索してください。

問い合わせ 企画課(☎402424)

資源ごみ回収実績を報告します(平成28年度の資源化率20・60%)